

「100年先も必要とされる会社」へ

第95期

株主のみなさまへ

決算ご報告

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日



株主のみなさまへ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社およびグループ各社（以下、当社グループと称します。）の第95期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）の事業の概況をここにご報告申し上げます。

95期は事業構造改革の進展により、黒字に転換し、損益構造は大きく改善いたしました。経常利益は計画値を大きく上回る着地となり、この状況を踏まえて中期経営計画の積極的見直しを実施しました。本中期経営計画期間（2024年3月期～2026年3月期）では着実な利益成長の実現を目指してまいります。株主のみなさまには引き続き当社グループへのご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 具
2024年6月



代表取締役 社長執行役員

山村幸治

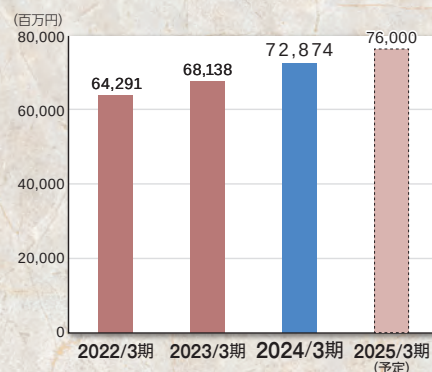
2024年
3月期

連結業績ダイジェスト

売上高

72,874百万円

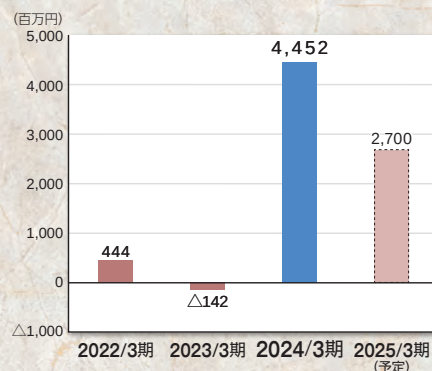
ガラスびん関連事業では国内ガラスびん業界全体の出荷量が減少し、当社の出荷量も減少しましたが、価格改定や品種構成の影響で販売単価が上昇したことにより売上が増加しました。プラスチック容器関連事業では当社の飲料用キャップの出荷の増加や販売単価の上昇、中国の子会社の販売が好調なこと等により売上が増加しました。物流関連事業では新規業務による取扱い物量の増加、ニューガラス関連事業では国内子会社における出荷の減少等があり、これらの結果、売上高は72,874百万円(前期比7.0%増)となりました。



営業利益

4,452百万円

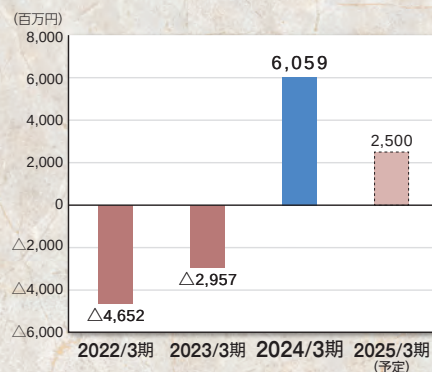
ニューガラス関連事業では減収による影響等がありましたが、ガラスびん関連事業、プラスチック容器関連事業ともに販売単価が上昇したこと等により増益となり、物流関連事業では取扱い物量の増加や価格改定およびコスト削減等の損益改善がありました。これらの結果、営業利益は4,452百万円(前期は△142百万円の損失)となりました。



経常利益

6,059百万円

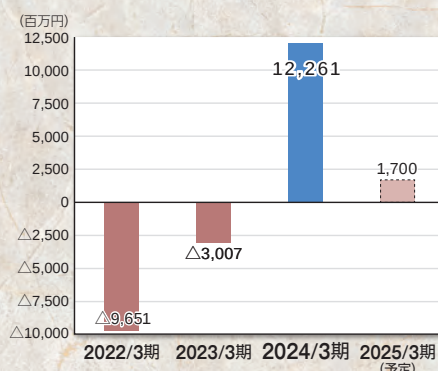
米国の関連会社に係る貸付金が全額返済されたこと等により、持分法による投資利益が大きく改善し1,148百万円(前期は持分法による投資損失2,285百万円)となり、経常利益は6,059百万円(前期は△2,957百万円の損失)となりました。



親会社株主に帰属する
当期純利益

12,261百万円

特別利益に事業構造改革計画に基づき実行した固定資産の譲渡により発生した固定資産売却益や、米国の関連会社の譲渡により発生した関係会社出資金売却益等を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は12,261百万円(前期は△3,007百万円の損失)となりました。

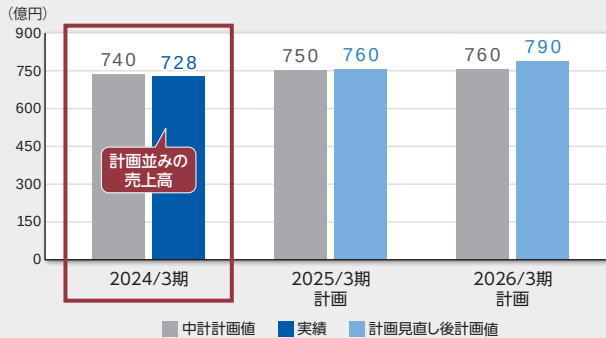


中期経営計画(2024/3期～2026/3期)の見直し

- 2023年6月、事業構造改革を実施のうえ成長に向けた事業基盤を整える新中計およびグループ経営ビジョンを公表
- 中期経営計画初年度の2024/3期は事業構造改革の進展により黒字転換。経常利益は当初計画値を大きく上回る着地。足元の状況を踏まえて、業績計画値の見直しを実施

売上高

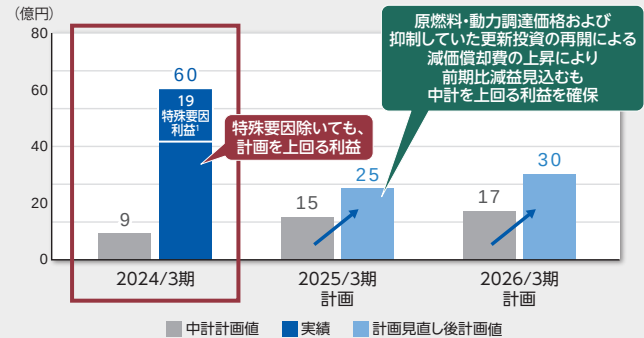
- 同業他社の生産設備縮小影響を取り込み、計画並みのガラスびん出荷量を維持
- 価格改定による販売単価の上昇で、計画並みの売上高を達成



経常利益

- 価格改定の取組みの継続により、収益性改善
- 原燃料・動力調達価格の上昇が想定より低かったことで、利益を押し上げ
- 海外関連会社の譲渡を実施、利益を押し上げ(特殊要因利益¹⁾)

1. 海外関連会社への貸付金の全額返済等



株主還元方針

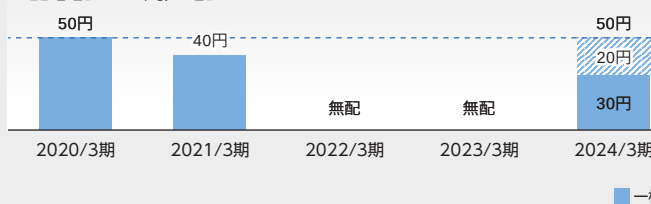
- 財務安全性や必要投資とのバランスを考慮のうえ、資本効率を意識した株主還元を実施
- 下限を定めた上で利益の増加に連動する形で株主還元を強化。1株当たり50円を下限、連結配当性向30%を目安に利益増加に応じた継続的な配当額の増加を目指す方針

株主還元方針

- 1株当たり配当額: 50円(2020/3期まで維持してきた水準)を下限として設定
- 連結配当性向: 30%を目安とする

配当実績

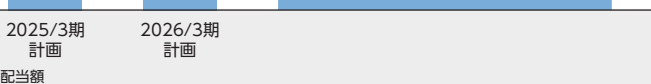
- 業績に応じた配当を継続的にを行うことを基本に、投資や財政状況等を総合的に勘案しながら、積極的に株主に利益還元する方針
- 業績が改善した2024/3期は3期ぶりに復配、50円(普通配当30円、記念配当20円)を配当



配当方針

1株当たり配当額
50円以上

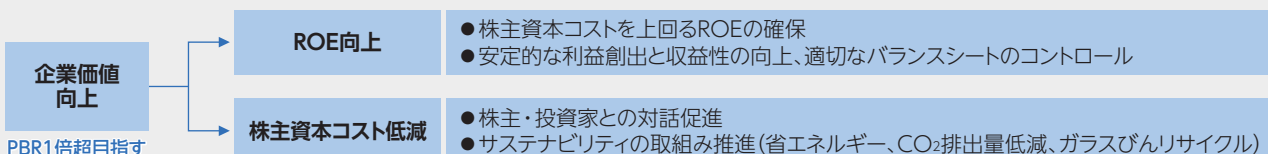
連結配当性向
30%目安



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

- PBRIは1倍を下回って推移しており、企業価値向上に向けた積極的な取組みが必要な状況と認識
- 株主資本コストを上回るROEの確保のため、資本効率の向上に取り組むとともに、株主・投資家との対話を促進し、中長期的な企業価値向上を目指す

企業価値向上に向けて



TOPICS

廃棄もみ殻をガラス原料に使用したガラスびんを開発

当社は連結子会社である株式会社山村製壺所と共同で、ガラス原料に使用されるシリカ(珪砂)の代替原料として、もみ殻を使用したガラスびんの生産に成功しました。

もみ殻はお米の脱穀工程で年間200万トン以上発生し、その多くは廃棄されています。

本技術はガラス原料の一部に、廃棄物とされていた再生原料(もみ殻)を使うことで、ガラスびん製造と使用におけるサーキュラーエコノミー実現への貢献が期待されます。

また、当社関西本社と山村製壺所のある兵庫県には、多くの酒造、日本酒の原料であるお米の名産地、原料製造所およびカレット事業者が存在します。したがって、環境省や農林水産省が全国的展開を推進する「地産地消」や「地域循環共生圏の創造」などの政策への貢献が期待されます。

山村グループは、「100年先も必要とされる会社」というグループ経営ビジョンを掲げ、ずっと未来も、山村グループに関わる全ての人や社会の役に立ち、必要とされ続けるグループでありたいと考えております。

今後も社会の環境課題の解決に貢献する製品の開発に取り組んでまいります。



第20回ガラスびんアワード 2024

当社および山村製壺所のガラスびんを使用した商品が受賞

「ガラスびんアワード」は、日本ガラスびん協会が主催する業界最大級のイベントです。1年間(2022年12月～2023年12月)に発売されたガラスびん商品を、デザイン性・機能性・環境性等、様々な視点から審査し、表彰します。

第20回目を迎えた今回は、当社のガラスびんを使用した商品が富永美樹賞および日本ガラスびん協会特別賞を、山村製壺所のガラスびんを使用した商品が最優秀賞を受賞いたしました。



株式会社一創 様
TSUCHI-YA
純米大吟醸 | 美硝
製造: 山村製壺所



有限会社戸田乳業 様
ホエイのきもち
製造: 日本山村硝子



中野BC株式会社 様
パインアメサワーの素
製造: 日本山村硝子



キャップリサイクリングを通じた循環型社会の実現に向けた取組

当社プラスチックカンパニーでは、【REBORN CAP PROJECT】を立上げ、ペットボトルキャップの水平リサイクルのプラットフォーム構築に向けた取り組みを行っています。

① J-CEP「ペットボトルキャップ回収・再生プロジェクト」活動に参画

J-CEP(※)では2022年10月13日～2023年12月13日の期間、『ペットボトルキャップ回収・再生プロジェクト』活動を行い、当社も参画しました。神戸市が展開する「資源回収ステーション」に市民から使用済みキャップを集め、参画企業で「爪切り」や「プチプチ」などに再生しました。回収～製品再生のスキーム構築を目指し、一連のプロセス実験を実施しながら試作品を製作して、製品への利用可能性を検討しました。

※(J-CEP) 持続可能な社会の実現を目指す企業等が、住民・行政・大学等と連携して、サーキュラーエコノミーの推進に取り組む新事業共創パートナーシップ

② ペットボトルキャップの分別回収における人の行動変容を促す共同研究

当社と近畿大学は、ペットボトルキャップ(以下キャップ)の分別回収における人の行動変容を促す共同研究を開始しました。今回の共同開発では、ペットボトルとキャップの分別廃棄を促進し、キャップの回収率向上を目的としています。キャップを分別する行動変容を促すアイデアを創出し、「キャップ回収BOX」のプロトタイプを作成しました。今後、実証実験と解析を進め、完成度を高めてまいります。



会社の概要		(2024年3月31日現在)
商 号	日本山村硝子株式会社(Nihon Yamamura Glass Co.,Ltd.)	
本 社 所 在 地	関西本社 兵庫県尼崎市西向島町15-1 電話 06-4300-6000(代表)	
	東京本社 東京都新宿区西新宿6-14-1 電話 03-3349-7200(代表)	
	新宿グリーンタワービル20階	
創 業	1914年4月5日	
設 立	1941年12月11日	
資 本 金	140億7,496万5,448円	
従 業 員 数	750名	
上場証券取引所	東京証券取引所(スタンダード市場)	
会 計 監 査 人	有限責任 あずさ監査法人	

大株主の状況		
株 主 名	所有株式数	所有株式比率
日本山村硝子取引先持株会	698千株	6.84 %
村上 貴輝	443	4.35
株式会社三井住友銀行	425	4.16
INTERACTIVE BROKERS LLC	316	3.10
山村 幸治	305	2.99
日本山村硝子従業員持株会	267	2.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	231	2.27
株式会社三菱UFJ銀行	229	2.24
三菱UFJ信託銀行株式会社	227	2.23
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	196	1.92

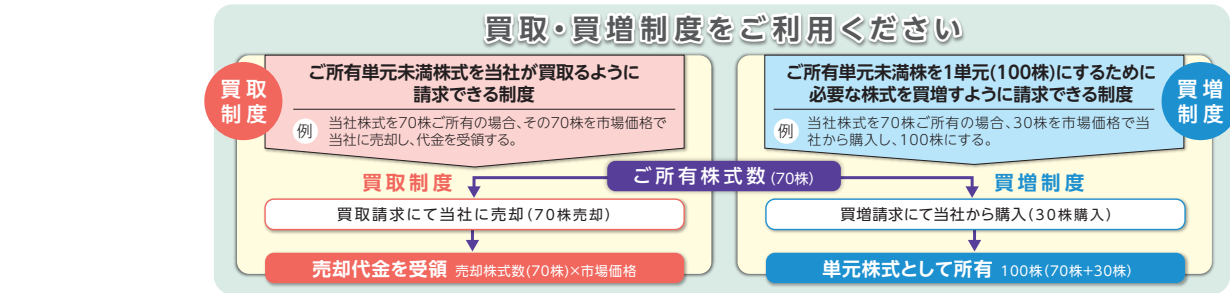
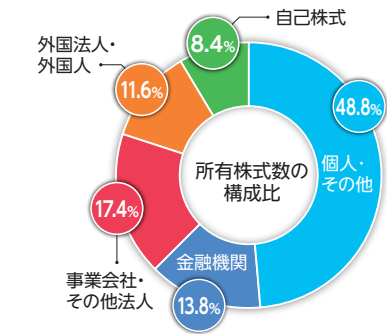
(注) 1. 当社は、2024年3月31日現在、自己株式934千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 所有株式比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、株式会社日本カストディ銀行(信託口4)の所有株式数には、信託業務に係る株式数が含まれております。
4. 所有株式数は表示単位で切り捨て表示をしております。

役 員		(2024年6月26日現在)
-----	--	----------------

■取締役（監査等委員である取締役を除く。）		■監査等委員である取締役		■執行役員	
代表取締役社長執行役員	山村 幸治	取締役常勤監査等委員	水田 好彦	常務執行役員	副島 正義 ガラスびんカンパニー副社長
取締役専務執行役員	小林 史吉 コーポレート本部、研究開発センターおよび植物事業部管掌	取締役監査等委員（社外）	井上 善雄 株式会社巴川コーポレーション代表取締役社長（独立役員）	執行役員	佐貫 正義 監査等委員会室長
取締役専務執行役員	明神 裕 ガラスびんカンパニー社長	取締役監査等委員（社外）	高坂 佳郁子 弁護士（独立役員）	執行役員	植田 光夫 環境室管掌
取締役専務執行役員	山村 昇 プラスチックカンパニー社長およびグループサステナビリティ推進部管掌	取締役監査等委員（社外）	泉 豊禄 ハクスイテック株式会社代表取締役社長（独立役員）	執行役員	井料田 保二 コーポレート本部長
取締役執行役員	田口 智之 ニューガラスカンパニー社長			執行役員	木村 周二 研究開発センター長

株式の状況		(2024年3月31日現在)
発行可能株式総数	30,000千株	
発行済株式の総数	11,145千株	
株主数	8,219名	
単元株式数	100株	

所有者別株式分布状況		
	株主数	所有株式数
個人・その他	7,890名	5,448 千株
金融機関	17	1,534
事業会社・その他法人	242	1,934
外国法人・外国人	69	1,294
自己株式	1	934
合 計	8,219名	11,145 千株



株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領日	3月31日
株主確定	
中間配当金受領日	9月30日
株主確定	
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://yamamura.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で行うこととなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。

なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次いたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

株式に関するお手続きについて		
○特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	特別口座の口座管理機関	お問合せ先
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取(買増)請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(*)		三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufj.jp/daikou/
(*)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は選択いただけません。		
○証券会社等の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会等の内容	株主名簿管理人	お問合せ先
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ ○上記以外のお手続き、ご照会等		三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。		